

物流をとりまく状況の変化(案)

物流は、我が国の産業競争力の強化や地方創生、豊かな国民生活の実現を支えるための社会インフラ。
 現行大綱策定後、第4次産業革命や通販事業の拡大など社会状況が大きく変化。
 社会状況の変化や新たな課題に対応できる強い物流を構築するために、6つの提言をまとめた。

総合物流施策大綱 (2013 - 2017)

「国内外でムリ・ムダ・ムラのない
全体最適な物流の実現」

産業活動と国民生活を支える
効率的な物流の実現

アジア物流圏への展開

関係者の連携による
物流効率化

物流インフラ等の整備・
有効活用等

安全・安心の確保

さらなる環境負荷の低減

現行大綱策定後の社会状況の変化・課題等

ASEAN経済共同体の発足

物流機能の変化(複合化・高度化)

物流を担う人材不足等

働き方改革

小口・多頻度化

再配達が発生

人口減少・少子高齢化の進展

通販事業の拡大、ライフスタイルの変化

第4次産業革命

インフラ整備の進展・ストック効果の最大化

パリ協定の発効

熊本地震の教訓等

新たな大綱に向けての提言

【提言1】
サプライチェーン全体の視点での
最適な物流の構築 **<繋がる>**

【提言6】
人材の育成・物流への理解を深めるため
の国民への啓発活動等 **<育てる>**

【提言2】
物流の透明化・効率化とそれを通じた
働き方改革の実現 **<見える>**

【提言5】
飛躍的な効率化をもたらす新技術等
(IoT、BD、AI等)の活用 **<進化する>**

【提言3】
ストック効果発現等のインフラ機能の向上
による効率的な物流の実現 **<支える>**

【提言4】
災害等のリスク・地球環境問題に対応する
持続可能な物流の構築 **<備える>**

骨子(案)概要

物流の生産性向上により、我が国の経済成長を支える「強い物流」を構築する。

「強い物流」： 変化への柔軟な対応力 + 限られた資源(人材・設備)を最大限活用する効率性(ムダのなさ)、
持続的・安定的なサービス提供(+ 働きやすい環境づくり)

モノがスムーズに流れ、隅々まで行き渡る

リスクに対する強靱さ + 環境面でも持続可能

さらに、これらを 新技術の活用によって効果的に実現し、 人材育成等 で横断的にサポート

物流の生産性向上

【提言5】
<進化する>
飛躍的な効率化
をもたらす
新技術等
(IoT、BD、AI等)
の活用

【提言1】<繋がる>
サプライチェーン全体の視点での
最適な物流の構築
(サプライチェーンを構成する関係者の連携)

【提言2】<見える>
物流の透明化・効率化と
それを通じた働き方改革の実現
(物流事業者・荷主、物流事業者間の連携)

【提言3】<支える>
ストック効果発現等のインフラ機能
の向上による効率的な物流の実現
(ハード・ソフトの連携・インフラ同士の連携)

【提言4】<備える>
災害等のリスク・地球環境問題に対
応する持続可能な
物流の構築

【提言6】
<育てる>
人材の育成・
物流への
理解を深め
るための
国民への
啓発活動等

民間 + 各省庁等の連携による施策の推進